

懐かしの九州の旅

山城日回 岡田輝治

二〇〇四年二月一五〜一七日（二泊三日）三十名の参加六十二才にして高校時代に参加出来なかった修学旅行を体験出来た喜び、理屈抜きで楽しかった。高校時代に皆と一緒に楽しかったが、貧乏で参加出来ず、バイトで稼いだお金は授業料本代へ、それ故に初体験の自分は誰よりも楽しく有り難い二泊三日でした。社会人になり九州旅行は数回体験しているものの、今回の企画は比べ様もありません。二泊三日全食事付き往復飛行機費用四万円の格安。行程二月一五日伊丹空港↓福岡空港、バスにて帰路迄観光。白秋の里、柳川川下りを皮切りに阿蘇内牧温泉泊、二日目阿蘇山にて昼食、快晴、ガイドさんの説明によればこの時期めずらしい程の好天との由、気分も最高、大変ラッキーでした。菊池溪谷経由にて雲仙泊、二日間の夕食の宴は幹事さんの企画により大変盛り上がり笑顔々のにぎにぎしい八時間でした。六十二才を忘れさせる皆の気持ちを通じ合った一時ではなかったか、岡田は誰よりもそう感じました。三日目雲仙を後に、長崎空港へ。昼食の場所が往時の旅行と同じ中華



山城高校 11 回卒同窓会「懐かしの九州の旅」3 日間 2004 年 2 月 17 日 長崎平和公園

飯店との事でした。大変美味しく食し幸福なり。中華飯店の窓から見える港。建造中の豪華客船ダイヤモンドプリンセス、絵ハガキの如し。長崎空港より伊丹空港へ、何よりも全員元気で楽しく旅行出来た事、これが何にも代え難い御馳走でした。感謝々々。

長崎平和公園にて

※あの日のある少女の手記から、「のどが乾いてたまりませんでした。水にはあぶらのようなものが一面に浮いていました。どうしても水が欲しくて、とうとうあぶらの浮いたまま飲みました。」幸福旅行のエピソードの手前でガツンと殴られたショックでした。故に今回の旅行が実現出来、参加出来た事を改めて有り難さを噛みしめた次第です。「平和の像」修学旅行参加の自分には記憶に残る声でした。六十二才のニコニコ笑顔の仲間たち賑やかで話しも弾む同窓会旅行が永く継続する事を願ってやみません。出会い上手の後味良しの十一回卒の仲間と修学旅行コース再現に参加出来た喜びを自分なりに結びます。恕の気持ち。三感四恩。素直さと情熱、ヤッター！の気。現場、環境、先輩、仲間から学ぶ四恩、感心、感謝、感動の心を常に学ぶ心得「氣」を大切にし、自分のエネルギー源として行動します。末筆ながら今回の記念行事の幹事様修学旅行のお世話戴いた幹事御一同有り難う御座いました。